



梅小路だより

平成26年度

⑪

京都市立梅小路小学校
校長 加村 和美

TEL.371-7303 FAX371-6019

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/umekouji-s/>

平成26年度 後期 学校評価特集号



学校教育目標

ともに学び、「勇氣」「元気」「やる気」のある子の育成

めざす子ども像

- ・ 正しく言葉をつかい学び合える子
- ・ マナーを守り進んであいさつする子
- ・ 自分を知り元気に遊べる子
- ・ 夢に向かって粘り強く行動できる子

後期学校評価（保護者アンケート）にお忙しい中ご協力いただき、本当にありがとうございました。集計結果についてご報告します。

今年度は学校教育目標・めざす子ども像を上記のように設定し様々な教育活動を行ってまいりました。皆様からいただいたご意見をもとに、来年度も学校教育目標の実現に向けて日々の授業改善・取組の推進に努めていきたいと考えています。

全体を通して

【保護者の方からの評価】

- ◆実現度について、「A」と「B」（「できている」以上）を合わせると、ほとんどの項目（8／10）で、80％を越えており、また、「D」はほとんどありませんでした。概ね良好と言えます。学校教育への評価（①～⑤）に対して、家庭教育の自己評価（⑥～⑩）の項目での評価が厳しめになっています。

【児童の自己評価】

- ◆実現度について、「A」と「B」（「できている」以上）を合わせると、ほとんどの項目（8／10）で、80％を越えており、概ね良好と思われます。一方で、「①毎日学校に来るのが楽しい」に「C」や「D」があることに関しては、担任を中心に学校全体でそのような子どもたちを見守っていかなくてはいけないと考えています。

前期・後期の比較では、改善されている項目とそうではない項目があります。以下に、学校がめざしている子どもの姿に照らし合わせて分析結果を述べていきます。

正しく言葉をつかい学び合える子 に関して

【保護者の方への質問】

- ② 自分の思いや考えがしっかり言えるように取組を進めている。
- ⑤ 意欲をもって学習できる授業づくりを進めている。
- ⑥ 子どもの思いや考えをしっかり聞くようにしている。

【子どもたちへの質問】

- ② 自分の思いや考えを はっきり言っている。
- ⑤ 進んで 学習に 取り組んでいる。
- ⑥ おうちの人と よく 話をする。

◆学校の取組に対しての質問，②と⑤に関して，前期に比べ「A」の割合が増え，「C」の割合が減っています。それと同様に，子どもたちの回答についても，授業・学習に深く関わる，②や⑤で，「A」の割合が増え，「C」の割合が減っています。今年度校内研究で取り組んでいる，「探究型の授業づくり」や，「アクティブリスニング」（話し手を見て聞く，うなずきながらきく，等，体と心を相手に向けてしっかりと聞く）の取組の成果が少しずつ現れてきていると考えています。

◆ご家庭の取組に関する⑥については，重要度は高く認識されていますが，実現度は厳しめの評価のようです。子どもたちの⑥の回答は，前期同様，比較的よい評価であり，子どもたち側は，「（おうちの人に）よく話をしている」と感じているようです。ぜひおうちの方も，子どもたちの話に耳を傾けていただければと思います。

マナーを守り進んであいさつする子 に関して

【保護者の方への質問】

- ③ ルールやマナーを身につけさせるための取組を進めている。
- ⑦ ルールやマナーを身につけさせるための努力をしている。

【子どもたちへの質問】

- ③ 進んで あいさつを している。
- ⑦ おうちの人や 地域の方に あいさつを している。

◆子どもたちの回答③⑦では，「A」「B」を合わせて90%以上が「よくできている・できている」となっており，前期に比較してもよい回答が増えています。学校では，1年間を通して児童会や各学年が交代で朝の玄関，廊下に立ち，あいさつ運動を行ってきました。また「挨拶＋(ﾌﾟﾗｽ)1」運動として，名前を呼び掛けたり，一言声をかけたりすることも続けてきました。それらの取組の成果もあり元気で自然な挨拶ができる子が増えてきたように感じています。

◆保護者アンケート③⑦についても，概ね良好な回答でした。ただし，前期と比較すると，③ではほとんど変化はなく，⑦でも少数ではあるが，「できていない」という回答が前期よりも増えています。ルールやマナーを身に付けさせることに関して，学校運営協議会の中でも議論し，地域・家庭・学校の連携が大切であることを再確認させていただきました。今後も，学校だより等で規範意識を育てるための学校での取組を発信していくとともに，地域・家庭の協力を得ることができるような啓発を行っていきたいと考えています。

自分を知り元気に遊べる子 に関して

【保護者の方への質問】

- ④ 食や運動など健康に関心をもつ取組を進めている。
- ⑧ 子どもの健康や体力づくりに気を配っている。

【子どもたちへの質問】

- ④ 給食を 残さず 食べている。
- ⑧ 規則正しい生活(早寝・早起き・朝ごはん)をしている。

◆④学校での取組「健康教育」に関して、前期に比べ「C」の割合が減り「B」が増えています。栄養教諭によるランチルームでの指導、みたらし団子作り、みそ汁作り等の食育に関する指導、健康については「生活点検」とつなげた保健指導や体づくりを目指した大なわの取組など、子どもたちが少しでも意識できるようなはたらきかけをしてきました。食や健康への興味・関心をもつことが自分の身体を見つめることにつながっているのではないかと思います。

◆子どもたちの回答でも、⑧「規則正しい生活」について、前期に比べ「A」が増えています。今後より一層、学校・家庭が連携して、食育・健康教育に取り組み、自分の体を知り、健康に生活しようとする自己管理能力をつけていきたいと考えています。

夢に向かって進んで行動できる子 に関して

【保護者の方への質問】

- ⑨ 家庭で学習や読書の習慣づけをしている。
- ⑩ PTA活動や学校行事に進んで参加している。

【子どもへの質問】

- ⑨ 進んで 家での学習や 読書をしている。
- ⑩ 休みの日に 地域の活動や 行事などに 進んで参加している。

◆重要度がやや落ちる評価の⑩については、比較的「C」「D」の割合が多くなっています。子どもたちの回答についても同様で前期とほとんど変化はありませんでした。高学年になるほど、休日にもスポーツや学習塾など、多様な過ごし方があるとも考えられます。PTA では様々な活動部があり日頃から多くの子どもたちが支えていただいています。また、梅小路フェスティバル、伝承遊び等では、日頃の授業時とはまた違った子どもたちの姿が見られます。少しでも行事に参加していただくと、地域・PTAの方々に温かく支えられていることが実際に肌で感じられ、共に育むということが実感できると思います。様々な学校行事につぎまして、今後も子どもたちにとって、そしてご家庭にとって魅力ある活動にしていければと考えています。

◆家庭学習・読書の習慣づけについては、⑨で、「A」が増えている一方、「C」も増えています。子どもたちの回答についても、あまり変化がありません。学校では朝読書の取組、読み聞かせ、国語科の授業の中で読書に親しむ学習を意図的に組み込む、図書委員会の取組などを通して、子どもたちが本に親しむようになって

てきている姿も見られています。但し、数字には表れませんが、子どもたちの様子を見ていると本が好きな子は本当にたくさんの読書をしており、一方であまり本を読まない子の読書量は大変少ないという、二極化も現れてきているようです。今後も学校での取組を継続するとともに、学校・家庭が連携し、家庭学習・読書の意義を指導していければと思います。

自由記述欄より（抜粋）

○毎日学校へ行くのが楽しいようです。それが一番大切で、親としては安心して通わせられることは、とても幸せなことだと感じております。

○（昨年度よりも）自分の意見を積極的に言えるようになりました。

→ ありがとうございます。今後もさらに主体的に課題に向かって学習し、自分のおもいや考えを出し合える授業づくりに取り組みます。授業や他の学校生活において自分の力を伸ばしたり友だちと協力し目標を達成する喜びを味わったりできる、楽しい学校をめざしていきたいと考えています。

○梅小路公園を使用した活動が増えることを期待します。

○先生方をはじめ地域の皆さんに支えられ、学校生活を送ることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

→ 地域の皆様、保護者の皆さまには、授業や行事の中で様々な形でご協力いただいています。授業では学習のねらいや育てたい力について事前に打ち合わせをし、関わっていただいています。梅小路公園や水族館、商店街など、地域には様々な「財産」があり、また、子どもたちが関わらせていただくことにより大きな成長につながる方々がおられます。生活科や総合的な学習の時間に活用させていただいています。今後も連携をとりながら子どもたちを育てていければと考えています。

○重要である家庭教育が実はあまりできていません。特にルールやマナーは大事ですが、うまく伝えられていません。礼やあいさつも本人はしているつもりですが、顔が横を向いているので半減です。

→ ご家庭での様子を知らせていただき、ありがとうございます。前に述べています通り、学校での取組を一層推進するとともに、ホームページやおたより等で、学校の取組を発信していきたいと考えています。

※他にも様々なご意見をいただきました。来年度の教育活動に生かしていきたいと考えております。お忙しい中本当にありがとうございました。